

いちほら福祉ネットの は 一 と 通 信

2019. 7. 25発行
VOL.51

発行者 中核地域生活支援センター いちほら福祉ネット(千葉県委託事業)
〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-15
TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225
ホームページ http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/
メールアドレス ichihara_f.net@bh.wakwak.com

年4回発行(4,000部)



障害者グループホームのご相談はこちらまで！ 障害者グループホーム等支援ワーカーの活動

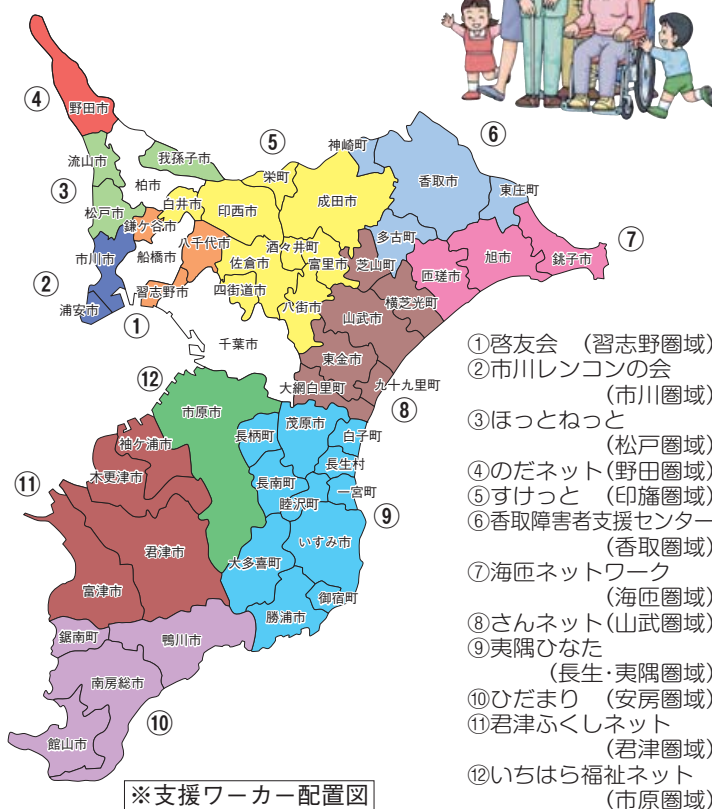
皆さんは、障害者グループホーム等支援ワーカー(以下支援ワーカー)をご存知ですか?現在、障害者グループホーム(以下GH)へ入居する方々の数は増え続けており、2020年度にはGH入居者数が障害者支援施設の利用者数を超えると言われております。障害が重度の方や家族の高齢化により在宅生活が難しくなった方など、様々な背景を抱えた方がGHの入居を希望されている中で、GHを運営する事業所へのバックアップ機能を持った支援ワーカーの活動は今後ますます重要になってくると思います。

そこで今回の一と通信では、支援ワーカーがどのような経緯で配置されるようになったのか、どのような活動をしているのかをご紹介します。

なぜ、障害者グループホーム等支援事業が出来たのか?

平成16年7月に策定された「第3次千葉県障害者計画」のなかで、「障害者がその人らしく地域で暮らせる社会を作っていくこと」を宣言した「千葉県障害者地域生活づくり宣言」が発表され、入所施設や病院で長く暮らしていた方々が地域へ戻れるようにするための「地域づくり」を進める施策の一つとして、「障害者グループホーム等支援事業」が千葉県独自の事業として創設されました。

具体的な役割として、①入所施設や病院から独立した第三者的な存在として、GH運営の透明性を向上していくこと(第三者性)②施設や病院からの入居希望者の情報や就労を含む日中活動の場の情報を集積し、各GHに提供する情報センターの機能を果たすこと(広範性)が求められ、平成17年10月より県内14の保健福祉圏域毎に設置(現在12ヶ所)され、事業を開始しました。市原圏域では、平成18年10月から市原市を対象に活動しています。



障害者グループホーム等支援ワーカーはどんなことをしてくれるの？

ここからは、支援ワーカーの活動内容をご説明します。実際に相談者の方々からよく聞かれる項目についてQ&A方式でお答えしていきます。

Q 支援ワーカーはどのような人からの相談を受けていますか？

- A** ①GHの入居を希望しているご本人、またはご家族の方。
②GHへの入居を支援している方。
(市役所の職員・病院の相談員・相談支援専門員・特別支援学校の先生など)
③GHに入居している方や働いている職員。
④新しくGHの事業を始めたいと考えている方。
主にこのような方たちからのご相談をお受けしております。

Q どのような相談にのってくれますか？

- A** 多く寄せられる相談としては、入居相談があります。GHを利用したいと考えている障害当事者や家族からの相談です。「GHという福祉サービスがあると聞いたが、よくわからないので教えて欲しい」といった要望に対し、面談を通してグループホーム制度や生活の様子について説明しています。その後GHの見学を希望された場合には、希望される生活環境に近いGHを探して、一緒に見学の同行等を行います。「すぐに入居するわけではないが、まずは情報を知りたい」と考えている方への対応も行っています。

また、GHへの入居を支援している機関からの相談にも対応しています。病院・障害者支援施設・特別支援学校などから地域へ移行する際、GHの利用を考えている支援者に対して、市原市内のGH空き情報の提供や入居の調整を行っています。支援機関から入居希望者の障害特性や生活能力、GH側にこういった支援を求めているのかなどをお聞きしたうえで、受入れが可能なGHの情報をお伝えしています。

その他には、新たにGH事業を始めたいと考えている方からの相談に対し、GH制度の説明や開設までの流れ、市原市内のGH設置状況や入居希望者のニーズについて説明しています。また入居者や職員からの相談にも対応しており、入居者からはGHでの生活の悩みをお聞きし一緒に解決策を考えたり、職員からは入居者の支援方法や事業所運営に関する相談を受け、他事業所や他圏域の参考となる取り組みを紹介するなどの支援を行っています。

Q 相談するにはどうしたらいいですか？

- A** 相談方法は電話、メール、来所面談、訪問などがあります。支援ワーカーはいちほら福祉ネットに在籍しています。まずはお電話してください。

電話番号 0436-23-5300 E-mail ichihara-ghw@ag.wakwak.com

受付時間 24時間・365日体制で対応しております。

Q 支援ワーカーの活動の中で、課題や難しいと思うところはありますか？

- A** 市原市内のGH数は、支援ワーカー事業が開始された当初よりも増えてきており現在では約62ヶ所、約300名の定員数となっています。様々な住居タイプや法人理念・支援方針などの特徴があり、入居希望者が自分の生活スタイルに合わせてGHを選択出来るようになってきています。入居者や入居希望者の中には、病院への入退院を繰り返していた方・長期間地域との交流がない方、知的障害と精神障害・精神障害と身体障害など複数の障害や病気を抱えている方などもいらっしゃいます。一人一人が抱えている背景や障害特性に合わせた生活をGH事業所や関係機関とどのように組み立てていくか、支援の質を今まで以上に高めていくための地域の協力体制をどのように構築していくか、日々悩みながら業務を行っています。

GHは障害者が地域住民の一人として、自分らしい生活を送るための場です。支援ワーカーとしてGH事業所や関係機関の皆さんと連携しながら、入居者の生活を支えていきたいと思っております。

市内の施設等の夏・秋祭りの日程

| 日にち | 名 称 | 時間 | 問合せ先 |
|----------|--------------------------------|-------|---------|
| 7/26(金) | 第26回ふるさと苑 なつまつり | 10:00 | 75-2525 |
| | ききょうサマーフェスティバル2019(市原市三和福祉作業所) | 17:30 | 36-8290 |
| 7/27(土) | ケアハウス向日葵 納涼祭 | 17:00 | 36-1600 |
| | ユー・アイ久楽部 納涼祭 | 17:00 | 20-0701 |
| | 辰巳萬緑苑・彩風苑夏祭り | 18:00 | 75-2251 |
| 8/4(日) | ききょう祭(吉沢学園) | 17:00 | 98-1562 |
| 8/10(土) | ふる里学舎納涼祭 | 16:00 | 37-7511 |
| | 納涼盆踊り大会(溪泉荘・市原園) | 18:30 | 96-1112 |
| 8/17(土) | 緑祐会納涼祭(永野病院・梅香苑) | 16:00 | 95-6767 |
| 8/18(日) | 納涼祭(クローバー学園・第2クローバー学園) | 15:00 | 60-5115 |
| 8/24(土) | 太陽の丘ホーム夏祭り | 16:30 | 60-3266 |
| | クレイン・トータス・げんき館 納涼祭 | 17:30 | 88-4500 |
| | 緑祐の郷 納涼祭 | 18:00 | 98-1011 |
| 8/31(土) | 辰巳ナーシング・ヴィラ夏祭り | 15:00 | 74-1311 |
| 9/1(日) | あじさい苑 納涼祭 | 18:30 | 36-1533 |
| 10/14(月) | 高滝神明の里 秋祭り | 10:00 | 98-1900 |



「障害者グループホームってどんな住居なの？」②

第2回目は平屋住居のグループホームを紹介します。このタイプの特徴は

身体が不自由な方でも生活しやすいよう、バリアフリーの設計がされていることです。

玄関までの道や室内の段差を無くしていたり、廊下・トイレ・風呂を広く設計し壁には手すりを付けるなど、車椅子や歩行補助具等をご利用している方でも生活出来るよう、様々な配慮がされています。このタイプでは1



軒に5～6名が住んでおり、部屋は個室に分かれています。共有のリビング・キッチンが設けられており、他の入居者と交流しながら過ごすことが出来ます。

身体障害に限らず、加齢により身体機能が低下した方も暮らせるのが平屋住居の利点です。一度見学されたい方はぜひ支援ワーカーにご相談下さい。

(写真協力:

NPO法人ともに生きる麦 グループホーム麦)



旬の食材を使ったヘルシーメニュー

お子様やおつまみにもおすすめの一品です。
軽い食感でぱくぱく食べられます。

納豆の落とし揚げ (1人分：132Kcal)

材料(4人分) 納豆 120g、コーン缶 96g、食塩 0.8g、米粉 38g、水 16.8g、油 12g

- 作り方…① コーンは水気をきっておく。
② ボールに納豆、コーン、塩、米粉、水を加えてさっくり混ぜる。
③ スプーンなどですくって170℃の油に落とし、少し広げるようにして整えてからりと揚げる。

栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「米粉は小麦粉に比べて油の吸収が抑えられるといわれています。ダイエット中の方など油分を気にされる方は米粉がおすすめです。」

今回のレシピは、おもいやり福祉会 ちはら台南保育園 栄養士の飯高美由紀様に提供していただきました。

いちほら福祉ネット活動報告

【会議等出席・開催状況 R1/4/1～6/30】

- 4/9・5/14・6/11 市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 4/15・5/27・6/4・6/24・6/27 市原市障がい者支援協議会 全体会・権利擁護部会・相談支援部会
- 4/15・5/20・6/17 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 実務者会議・研修会
- 4/16・5/14 加茂地区民生委員児童委員協議会
- 4/16・5/23・6/17 司法と福祉の勉強会
- 4/20・5/18・6/15 ちはら台地区福祉総合相談
- 4/21 いちほら認知症あんしんフェスタ
- 4/22・6/24 市原市精神保健福祉フェスタ実行委員会 全体会
- 4/23・5/28・6/25 中核地域生活支援センター連絡協議会 総会・例会
- 5/ 8 特別支援学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会
- 5/23 中核地域生活支援センター連絡調整会議(障害部会)
- 5/24・6/21 市原地域リハビリテーション広域支援センター ちーき会
- 5/28 地域包括支援センターふるさと ケアマネ交流会
- 5/31 相談支援専門員研修会
- 5/31 市原市相談支援事業所連絡会 银杏の杜
- 6/ 5 成年後見制度利用促進意見交換会
- 6/6・6/27 市原市社会福祉協議会 理事会
- 6/18 青葉台福祉なんでも相談会
- 6/26 精神保健福祉研修 (担当者研修)

4月21日、市原市認知症対策連絡協議会と市原市が主催する『いちほら認知症安心フェスタ』がユニモちはら台で行われました。当日は介護大喜利や認知症の便利グッズコーナーなど、見て・体験して認知症について学べるイベントが盛りだくさんでした。

私たちいちほら福祉ネット職員もスタッフとして参加し、たくさんの来場者と一緒に認知症について考える機会を持つことができました。

いちほら福祉ネットへの相談件数 (速報値)

平成31年4月～令和元年6月
延相談件数 1,991件(新規81件)

| 相談件数 | 対象者 |
|------------|------------|
| 電話 1,535件 | 高齢者 130人 |
| 訪問 339件 | 障害者 1,081人 |
| 来所 79件 | 児童 55人 |
| 個別支援会議 38件 | その他 725人 |

令和元年度(4月～6月)
延相談件数 1,991件

編集後記



今年も蝉の鳴き声と共に、本格的な夏の暑さがやってきましたね。今年度もは一と通信では、市内施設の夏・秋祭りの日程を掲載しております。熱中症に十分気をつけながら、ご家族やご近所の方と盆踊り唄を聞きに、足を運んでみてはいかがでしょうか。(スタッフ一同)